

第 2 1 回例会報告 (1 1 月 2 7 日)

【 出 席 報 告 】

- ・ 会員数 61名 ・ 出席数 44名 ・ 欠席数 17名
 ・ 当日出席率 82.35% ・ 前々回修正出席率 100% 13回目
 < 欠席会員 > 檜垣(巧)、笠間、黒田、宮本、村上(修)、佐伯、佐々木、十河、竹田
 [免除会員] 原、松本、中川、坂本、瀬野、曾我部、高木、吉田
 < 11 / 13欠席補填 > (11/10今治北)初田、(11/11今治南)濱田、(11/11IAC)佐々木、(11/13
 職業奉仕)白石(天)、(11/17今治北)天野、原田、冠、笠間、村上(修)、野間、
 矢野、(11/18松山西)青野、竹田、渡邊(一)、(11/25今治南)菅

会長報告・11月23日(日)、今治中央LC結成40周年記念式典に出席しました。

幹事報告・RI国際大会の宿泊について、当クラブの参加旅行は5月22日(土)の宿泊を予約していますが、23日(日)~26日(水)の新阪急ホテルの予約が余っているので、ご利用の方は事務局までご連絡下さい。

・ 回覧物；ロータリー財団・米山奨学会寄付明細、他クラブ週報、他

1分間スピーチ / 矢野暢生会員・11月29日で結婚22年目を迎える。2~3年前に車を買った時、女房の点数を稼ごうと思いナンバーを結婚記念日にすることを考えた。ところが間違っって“1124”という番号を取ってしまい「あなた、日にちも覚えてないの」と逆に怒られてしまった。今日皆さんに祝って頂き、自分の結婚記念日が11月29日であるということを確認することができました。ありがとうございました。

会員卓話 佐藤晃一会員 「農業・農村のお値段は？」

日本の農業、稲作は安定した国家や日本の文化形成の基になっている。歴史上の物語や、「大国主神と因幡の白兔」「須佐之男命と八岐大蛇」の神話からもこれが読みとれる。しかし近年、農業は大事にされていない。20世紀という経済第一主義の時代においては国際分業論により「食料は外国から輸入すればいい」という風潮にあった。戦後、人々の食生活は大きく変わり学校給食にもパンが導入された。この50年で米の消費量は3分の1に減少。1975年頃の国民消費価(食物に使うお金)は約23兆円。うち国内の農水産業のシェアは30%の約8兆円。それが1995年には消費価約51兆円でシェアは16%の約9兆円。残りはレストランやレトルト食品等の外食産業。20年で消費価は2倍以上になったが農水産業の増加はわずか1兆円程度。3年程前、農水大臣の依頼で地球環境、人間生活にかかる農業の多面的機能の評価についての研究を行い、農業には新鮮・安全な食料を安定生産し、持続的に供給することで国民に安心感を与えること、農業的土地利用が物質循環系を補完し環境保全に大きく貢献していること、農作業や園芸に携わることなどでやすらぎを感じりハピリ効果・保健休養機能もあることなどが取りまとめられた。農業・農村の多面的機能評価額は約10兆円とされているが、これは評価可能なものについて仮想評価法等により経済評価したもので農業全体を表すものではなく、農業にはお金の換算できない大変な天文学的效果があることをご理解下さい。



次回例会 (1 2 月 4 日)

[職場訪問例会] 伊予銀行今治支店(新社屋)5階 ホールにて

< 会員誕生日 > 平尾浩一郎氏 (1 2 / 9)

< 夫人誕生日 > 白石 洋治氏 (1 2 / 4)

駐車場が限られていますので、なるべく乗り合わせてご来場下さい。

[献立 ; 健寿司]